

学問のすすめ

読書のすすめ

「読書は心の栄養」と言われます。下記の新聞報道にあるように、本校の図書教育の取組が全国1位の「文部科学大臣表彰」を受けました。本に出逢うことは人に出逢うことと同じくらいの影響があるとされています。読書することで、様々な表現に触れ、語彙力も向上します。これからも本を読んで豊かな人間性を深められるようご家庭でのご協力を引き続きよろしくお願いいたします。

読書活動で文科大臣賞

羽生手子林小とくるみ座



羽生市立手子林小学校（榊原久子校長）と人形劇の「くるみ座」（小林由美子代表）が、2020年度「子供の読書活動優秀実践校・団体」で全国1位の文部科学大臣賞を受賞した。5月20日、羽生市役所に河田晃明市長を表敬訪問し、喜びを報告した。（江利川義雄）

読書活動への関心と理解を深めるために、文科省が2002年度から実施している。特色ある優れた実践を行っている学校・図書館・団体・個人の実践をたたえている。同市では18年度に羽生南小が同賞を受けている。

手子林小は14年度から全校で「児童が自然と足を運ぶ」とができる「図書館」の運営を実施。10月下旬から11月下旬までの1カ月間は「秋の読書祭り」をめぐり、わたしの読書宣言に取り組みなど、先進的に活動している。

くるみ座は1988年に羽生市立図書館の児童文学講座を修了した有志が毎週木曜日に勉強会をもち、図書館などで人形劇やおはなし会などの

ボランティアを年に15回ほど開催している。発足から34年たった現在でも週に1度程度練習日を設け、大人と子どもが楽しめる演目を選ぶように心掛けている。

実践校と団体のダブル表彰となり、河田市長は「手子林小もくるみ座も素晴らしい活動を実践している」と絶賛。榊原校長は「全校での取り組みが大きな賞につながった」と笑顔。小林代表は「子どもたちの喜ぶ姿が、私たちの活動の励みになっている」と話した。



令和2年6月3日
埼玉新聞

児童の喜びのコメント

昨年度の図書委員会児童の喜びのコメントを裏面に掲載しました。ご覧ください。





1年間がんばった成果がこのようなすごい賞をいただけてとてもうれしいです。これからも受賞できるように努力していきたいです。

6年 1組 安達 慶幸

1年間やってきた活動が認められてうれしかったです。

今年もがんばりたいと思います。6年 1組 杉下 蓮

1年間がんばったかいがありました。これからも読書のよさを広められるようにしていきたいです。

6年 1組 中島 翠仁

図書委員をやってこんなにいい賞をとれてとてもうれしいです。これからも、もっと本を読んでもらえるよう、がんばりたいです。

6年 1組 盛田 早織

昨年も図書委員会をやって、文部科学大臣賞をもらえてとてもうれしいです。今年も図書委員になったので、秋の読書宣言などの活動ががんばりたいです。

6年 2組 菊- 悠入

読みかせやおすすめの本のしょうかいをすることで、一人でも多くの人に本に興味を持ってもらえた結果だと思います。読書の楽しさを知ってもらえたことがうれしいです。6年 2組 清水 結実

あらためて、元図書委員として、文部科学大臣賞をいただき、とてもうれしいです。本のしょうかいや、読み聞かせなど、みんながたくさん本を読んでもらうために取り組んできたかいが、あったと思います。これからも、たくさん本を読んで6年 2組 徳 愛香
もらいたいです。